

『春のひとひらの雪』

～儚さについての考え～



4月の雪片のように、
荒れ狂う空から落ちてくる
ほんの少しの間、
この世界に浸ったかと思うと、
すぐに視界から消えてしまう
私たちの存在もはかないものだ
しかし、雪片のひとかけらは、
喜び、輝くことができる
消えて無くなることなど考えもせず
ひと時でも輝くことができるのなら、
永遠の存在を心に抱こう

- T Newfields (和訳: Austim)

開始: 1988年・名古屋市・完成: 2021年 東京都

